

受 賞 者 紹 介

<担い手育成部門>

谷 澤 隆

<技術改善部門>

棚 橋 誠

<農業・農村振興部門>

大 島 千恵子

早 川 利 之

【 担い手育成部門 】

谷澤 隆 氏 (62 歳)

(豊田市)



愛知県内の農業高校の教員を務め、農業後継者をはじめとして農業分野に携わる人材を多数育成するとともに、退職後の現在も愛知県立農業大学校等の講師を担当するなど農業の担い手育成に尽力している。

安城農林高校の教諭時代には、県内で初めてとなる草花を中心とした生物工学科の設置に準備段階から大きく関わり、本県の生物工学教育の指導指針体系を確立した。

農業教員の育成にも力を注ぎ、知識ばかりが先行しがちな若い教員に対し、農業の専門性を高める上で現場を理解することの大切さを強く訴えけるとともに、中堅の教員に対しても、農業教育の在り方や指針を示し、多大な影響を与えることで教員の資質向上に貢献した。

今回、担い手を自らの手で育成していることが高く評価された。

(略 歴)

昭和 48 年 4 月	愛知県公立学校教員採用
平成 10 年 4 月	安城農林高等学校教頭
平成 15 年 4 月	稲沢高等学校教頭
平成 16 年 4 月	半田農業高等学校校長
平成 18 年 4 月	佐屋農業高等学校校長
平成 19 年 4 月	安城農業高等学校校長
平成 21 年 3 月	定年退職

【 技術改善部門 】

棚橋 誠 氏 (58 歳)
(愛西市)



愛西市八開地区の佐屋川沿いの地域は、砂質土壌で水稻の登熟期の肥効切れが著しく、収量は300kg/10a以下という低い状況であった。この対策として、従来の作付品種から生育期間の短い極早生品種「コシヒカリ」への全面切り替えに尽力し、収量420kg/10a以上と低収量の改善に大きく貢献した。

また、水稻の作業受託に早くから取り組み、愛西市八開地区における水稻作の技術リーダーとして、また作業受託農家のリーダーとして、営農受託部会の会長・副会長を歴任している。

愛西市内の畜産農家の堆肥と有機質肥料を利用した高付加価値米の生産や、作業の省力化や低コスト化を図れる不耕起V溝直播栽培の導入にも率先して取り組み、地域の水田作経営のモデルとなっている。

今回、高い技術と献身的な人柄により、水稻の収量増に貢献したことが高く評価された。

(略 歴)

昭和45年	就農
昭和46年	水稻作業受託を開始
平成7年	八開村営農受託部会長
平成19年	愛西市営農受託部会長
平成19年	愛知県稲作経営者会議理事
平成21年	海部土地改良区理事

【 農業・農村振興部門 】

大島 千恵子 氏 (69 歳)
(一宮市)



自らが経営に参画している「ファーム大しま」では、30aのいちじくを栽培しており、生産したいちじくを地域等へ販売するとともに、加工販売を行うなど、農業の6次産業化や女性起業の先鞭として活躍している。

平成11年からは、50aの休耕地を地域の仲間と共に開墾し、花畑を作り上げるなど地域の景観形成活動に尽力している。花畑では地元小学校や町内会と連携した地域の花祭りが開催されており、300人の住民が集う地域イベントとなっている。

また、地域の小学校において、大豆栽培、豆腐・味噌作りなどを毎年延べ500名ほどの子供たちに指導するなど、食農教育の場でも活躍している。

平成12年からは、一宮市女性農業者会議の有志で構成される一宮本町通朝市を立ち上げ、消費者の声を聞きながら対面販売を行う朝市として、地域の交流活動の発展に寄与している。

女性農業者のリーダーとして信望が厚く、暮らしやすい農村づくりに尽力した功績が大きく、今後の活躍も期待されることが高く評価された。

(略 歴)

昭和35年	就農
平成 8年	いちじく栽培を開始
平成10年～17年度	一宮市地域農政推進協議会委員
平成12年～13年度	愛知県農村生活アドバイザー協会会長
平成13年～現在	一宮市丹陽南小学校食育委員

【 農業・農村振興部門 】

早川 利之 氏 (66 歳)
(春日井市)



昭和 41 年から 38 年間にわたり、愛知県の職員として農業行政に携わり、愛知県の花き振興に貢献した。

産地の振興には生産者組織の育成が不可欠との信念から、県域レベルでは唯一の花き生産者組織である「愛知県花き温室園芸組合連合会」の組織強化に取り組み、会員数 5,000 人を超える生産者による組織活動を確立した。

また、花きの消費拡大活動として、フラワーイベントの開催・企画運営の中心的な役割を果たした。

県行政のフレームづくりを推進し、いいともあいち運動、あいち農林水産業ビジョン 2010、食と緑が支える豊かな県民の暮らしづくり条例の企画・作成に携わってきた。

花きをはじめとした愛知県の農業振興に寄与するとともに、現在の愛知県農業の基盤を作り上げた功績が大きく、今後の活躍も期待されることが高く評価された。

(略 歴)

昭和 41 年 4 月	愛知県採用
平成 11 年 4 月	農業水産部農業技術課長
平成 12 年 4 月	農業水産部園芸農産課長
平成 13 年 4 月	農業水産部技監
平成 16 年 3 月	定年退職
平成 19 年 1 月～現在	愛知豊明花き流通協同組合顧問